

開智生の皆さんへ ～今、伝えたいこと ①

学校長 土井 和正

開智が休校となってから、もう2ヶ月余りが過ぎました。今は学校に登校することもできず、友人たちと語らい、共に学ぶこと、クラブ活動や行事にも参加することができないでいます。

そういった開智生の皆さんに、校長として何か元気になる話はないか、そういったことを考えている毎日です。そんな折り、本校と10年に及ぶ国際交流を続けているロンドンの名門校「ダートフォードグラマースクール (DGS)」のオークス校長先生から、私に一通のメッセージが届きました。君たちにもその内容の一部を紹介し、少しでも元気になってくれたらと思い、本校のホームページでお伝えさせていただきたいと思います。

今は、イギリスは日本以上に新型コロナウイルスの感染拡大で、DGSの先生や生徒の皆さんも大変困難な日々を送られていると思います。そのような状況の中、オークス校長先生からDGSを代表して『開智中学校・高等学校の先生や生徒たちの安全を心からお祈り申し上げます』といった文章から始まる、心温まるメッセージをいただきました。

その内容の一部をご紹介します。

『この前例のない混乱期において、互いに支え合える交流校が世界にいることを非常に心強く思っています。私はこの期間、集会などを通して日本の皆さんといかに素晴らしい友好関係が国境を越えて築けているかを教職員や生徒たちに何度も伝えてきました。』

『過去10年の素晴らしい相互交流をして、私は日本が英知をもって全国民が苦しんでいるこの混沌で悲惨な状況から立ち直ってくれることだろうと確信しています。』

『日本とDGSの若者たちが、この願いに団結して取り組み、私たちの思いがこの逆境に打ち克って、よりよい未来が開けることだろうと願っています。』

最後に『DGSの全教職員より愛を込めて』と記されていました。

このメッセージに対するお礼文は私からすぐに返信をさせていただきました。

今、君たちは苦しい状況の中にいますが、開智には国際交流を通して、イギリス・カナダ・韓国・オーストラリア・ニュージーランド・中国 etc… たくさんの国々の若者との交流があります。

もう少しの間、この試練に立ち向かいましょう。それが終結したとき、君たちには未来と希望が必ず待っています。そのときのためにも、今は耐え忍び、家庭の中ではありますが、日々目標を持って勉強に励んでください。必ずその努力が近い将来、君たちを社会で貢献できる人に成長させてくれます。

最後に校長として、もう少しの間我慢をしてください。私たちも君たちのために応援と努力を重ねていきます。

頑張れ、開智生！！